



大阪狭山市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)

環境活動レポート 2023

取組期間 令和5年4月～令和6年3月



大阪狭山市
OSAKASAYAMA

目 次

大阪狭山市での主な取組み	1
環境方針	3
1. 組織の概要	4
2. 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画庁内実施体制	9
3. 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画と行政計画、条例等との関連	10
4. 環境目標	11
5. 運用期間の取組結果と評価（令和5年度実績）	13
6. 環境関連法規の遵守と訴訟の有無	18
7. エコアクション21の取組みと今後について	18
8. 全体評価	19
資料編	20
エコ川柳コンテスト入選作品	21
施設別温室効果ガス排出原単位量一覧表（固定排出係数）	22
部の環境運営方針カード（令和5年度）	23
令和5年度環境活動計画書（各グループごとの施策別環境活動の内容）	31



令和5年度

地域での
取組み

大阪狭山市での主な取組み

地域における様々な主体が創意工夫により取組みを実施



まちづくり円卓会議では

まちづくり円卓会議とは、「地域のことは地域で考える」を実践するため、中学校区を単位として、自治会やNPO、市民活動団体や事業者などが自主的に集まり、まちづくりについて話し合う会議をいいます。

各円卓会議では、創意工夫により、「花いっぱい運動」、「河川のクリーンアップ」、「地域内清掃活動」など環境を守る様々な取組みを実施しています。



狭山池クリーンアクション

市のシンボル狭山池の環境を守るため、狭山池まつり実行委員会主催で毎月1回清掃活動などを実施しています。

再生可能
エネルギー
の利活用

大阪狭山市地球温暖化対策設備

（エネファーム、蓄電池、電気自動車等充放電設備（V2H）又は電気自動車充電設備）導入促進事業

本市における地球温暖化対策の一環として、再生可能エネルギー資源の利活用及び住宅の省エネルギー化の促進を図るため、対象の設備を設置された方にさやりんポイントの付与を行いました。

補助件数 98件 補助金額の合計 2,940,000円



<家庭用燃料電池コージェネレーションシステム>

59件

<電気自動車充電設備>

14件



<家庭用リチウムイオン蓄電池システム>

25（総容量 169.19 kWh）

エコ川柳コンテスト

エコ川柳コンテスト入選作品については、資料編を参照してください。

環境の大切さを再認識していただくきっかけづくりとして、エコ川柳を実施しました。

応募総数：113点 入選作品10点

普及啓発活動

エコフェスタおおさかさやま

地球温暖化対策を市民の皆さんと共に学び、考えるための啓発事業として、大阪狭山市産業まつり内にて「エコフェスタおおさかさやま」を実施しました。

環境リサイクルフェア

環境への負荷の少ない循環型社会の形成をめざして、ごみの減量化・資源リサイクルの推進など、市民の環境意識の高揚を図ることを目的に、市民団体や事業者の皆さんとともに毎年、開催している「環境・リサイクルフェア」を実施しました。

その他啓発活動

市役所内では全職員に対し、庁内情報システムによる掲示板を利用し、毎月エコ目標を定め、省エネ行動を推進しました。

環境への取組み

○エコ診断

会場：エコフェスタおおさかさやま（令和5年11月18日）

協力者：大阪府地球温暖化防止活動推進センター
（一般財団法人大阪府みどり公社）

○環境啓発冊子「わたしたちのごみ」

環境教育の一環として、子どもたちが環境への理解を深め、責任を持って環境を守るための行動がとれるよう、市内各小学校の4年生に環境啓発冊子を配布しました。

○大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

内部環境監査風景（令和5年10月16日）



○作って学ぼう！ソーラーミニカー工作教室

（令和5年11月18日）

・関西電力さんのご協力によりソーラーミニカーを30個、用意していただきました。指導員によりソーラーミニカーを制作し、環境に関するアンケートを記載してもらいました。



○SDGsカルタを作ろう！（令和5年11月18日）



環境方針

基本理念

大阪狭山市は、現存する日本最古のため池「狭山池」を市の中心に抱く、水と緑豊かな田園都市として発展してきました。「狭山池」は、『古事記』や『日本書紀』にもその名を記すほか、平成27年3月には国の史跡に指定されるなど、歴史的・学術的価値の高い遺産であるとともに、市のシンボルとして、古くから地域における憩いの場として親しまれ、身近な存在として今も地域の人々に愛されています。



これまで先人たちが守り続けてきた「狭山池」をはじめとする水と緑豊かな環境を、さらに次世代に引き継いでいくことが、今、この恵みを享受している私たちの責務となります。

地球温暖化に代表される地球規模での環境問題が一層深刻化するなか、まずは、地域における取組みを着実に進めていくことが重要であるとの視点に立ち、市自らが率先垂範し、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量削減をはじめとした環境への負荷の低減に努めるとともに、持続可能な社会の構築に向けて、市民の皆さまや地域の事業者の皆さまと手を携えて、環境に配慮したまちづくりに取り組みます。

基本方針

電力や化石燃料の使用抑制に努め、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

廃棄物の削減に向けて、3R（Reduce＝廃棄物の発生抑制、Reuse＝再使用、Recycle＝再資源化）に取り組みます。

プラスチックごみゼロ宣言に基づき、プラスチックごみの削減に取り組みます。

水資源の使用抑制に努めます。

グリーン購入を推進します。

環境配慮の視点に立った施策・事業を推進します。

環境関連法規等を遵守し、環境の保全・改善に努めます。

環境に対する理解を深めるため、環境教育の充実に努めます。

市民及び事業者の皆さまとともに、環境に配慮したまちづくりを推進します。

グリーンリカバリー（緑の復興）を踏まえたコロナ禍からの地域経済の回復を推進します。

1 . 組織の概要

市の概要

大阪府の南部に位置する大阪狭山市は、東は富田林市に、西、北は堺市、南は河内長野市に隣接しています。地形は東の羽曳野丘陵、西の陶器山山系にはさまれ南北に細長く、市の中央部には現存する日本最古の人工のため池である7世紀初めに築造された狭山池が水をたたえ、狭山藩北条氏活躍の歴史とともに、河内南部地域の要地として知られてきました。

大阪狭山市

面積 11.92 ㎡

人口 58,118 人
(令和5年3月31日現在)

市の花 つつじ



市の木 さくら



大阪府



組織概要

代表者 大阪狭山市長 古川 照人
 環境管理総括責任者 大阪狭山市副市長 田中 斉
 事業活動 大阪狭山市で実施している事務・事業
 事業の規模 総職員数 973人¹（うち指定管理者制度等に係る事業者職員 99人）
 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

対象施設職員数 562人

¹ 令和5年4月1日現在。嘱託職員等、小・中学校の教職員を含みます。

予 算 令和5年度一般会計当初予算額 21,775,856千円
 公共施設

市役所本庁舎



延床面積 6,711 m²
 所在地 狭山 1丁目
 2384番地の1

保健センター



延床面積 1,460 m²
 所在地 岩室 1丁目 97番地の3

コミュニティセンター （ニュータウン連絡所を含む）



延床面積 3,676 m²
 所在地 大野台 2丁目 1番5号

老人福祉センター （さやま荘）



延床面積 1,739 m²
 所在地 今熊 1丁目 80番地

心身障害者福祉センター 及び母子・父子福祉センター （さつき荘）

（障害者地域活動支援センターを含む。）



延床面積 1,157 m²
 所在地 今熊 1丁目 85番地

総合体育館



延床面積 4,970 m²
 所在地 池之原 4丁目 248番地

文化会館 （SAYAKAホール）



延床面積 13,618 m²
 所在地 狭山 1丁目
 875番地の1

学校給食センター



延床面積 2,074 m²
 所在地 今熊 2丁目
 1748番地の1

池尻体育館



延床面積 974 m²
 所在地 池尻中 3丁目
 639番地の11

ふれあいスポーツ広場



延床面積 1,271 m²
所在地 茱萸木 4 丁目
88 番地の 315

公民館



延床面積 2,621 m²
所在地 今熊 1 丁目 106 番地

図書館



延床面積 1,401 m²
所在地 今熊 1 丁目 106 番地

東野幼稚園



延床面積 1,371 m²
所在地 東野中 2 丁目 22 番地

東幼稚園



延床面積 2,306 m²
所在地 狭山 3 丁目
2555 番地の 1

半田幼稚園



延床面積 1,524 m²
所在地 半田 2 丁目 269 番地

子育て支援・ 世代間交流センター (UP つば)



延床面積 1,870 m²
所在地 狭山 4 丁目
2303 番地の 2

こども園 (0～3 歳児施設)



延床面積 1,039 m²
所在地 西山台 6 丁目 19 番 5 号

こども園 (4～5 歳児施設)



延床面積 2,510 m²
所在地 西山台 6 丁目 19 番 12 号

東小学校



延床面積 6,615 m²
所在地 狭山 3 丁目
2497 番地の 1

西小学校



延床面積 4,779 m²
所在地 今熊 1 丁目 22 番地

南第一小学校



延床面積 5,862 m²
所在地 西山台 3 丁目 2 番 1 号

南第二小学校



延床面積 6,326 m²
所在地 大野台 3 丁目 23 番 1 号

南第三小学校



延床面積 5,575 m²
所在地 西山台 6 丁目 19 番 7 号

北小学校



延床面積 4,996 m²
所在地 池尻北 2 丁目 20 番 7 号

第七小学校



延床面積 5,249 m²
所在地 東茱萸木 2 丁目 865 番地

狭山中学校



延床面積 5,910 m²
所在地 狭山 4 丁目
2272 番地の 2

南中学校



延床面積 7,634 m²
所在地 大野台 3 丁目 2 番 1 号

第三中学校



延床面積 7,475 m²
所在地 茱萸木 2 丁目 397 番地

子育て支援センター
(ぽっぽえん)



延床面積 682 m²
所在地 西山台 3 丁目 2 番 1 号

社会教育センター



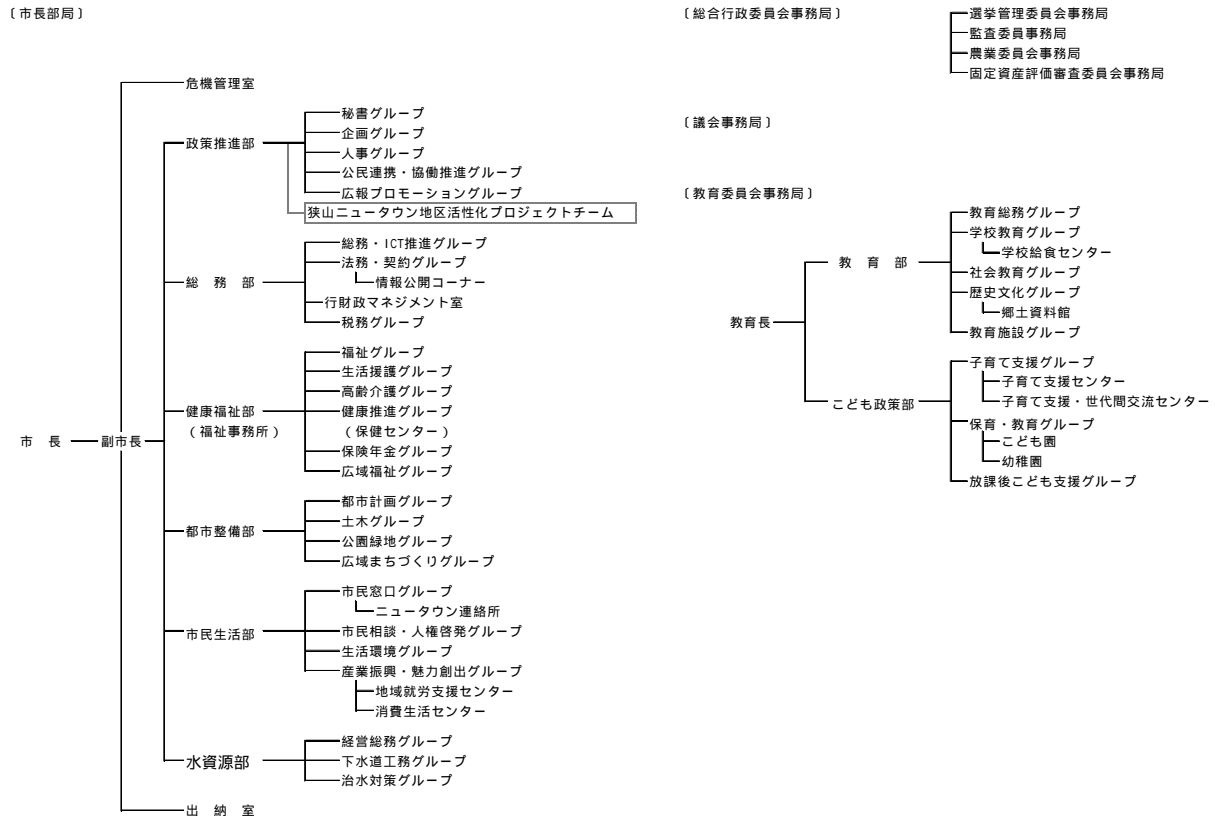
延床面積 1,082 m²
所在地 茱萸木 2 丁目
306 番地の 4

2 . 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）庁内実施体制

行政組織機構図（令和5年4月1日現在）

大阪狭山市行政組織機構図

令和5年(2023年)4月1日



管理統括組織

代表者
(市長)

- 環境方針の制定
- 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画の実施及び運用に必要な諸資源の用意
- システム全体の評価と見直し

環境管理総括責任者
(副市長)

- 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画の総責任者 ○ 各部署へ運用を指示
- 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画の構築・実施・管理
- 書類の精査・承認

内部環境監査員

- システムの運用・活動状況についての監査の実施

環境管理責任者
(各部・局・室)

- 所管(部・局・室等)における環境責任者に対する取組みの指示
- 市全体の環境目標及び環境活動計画についての審議
- 環境活動レポート及びシステムの活動状況についての審議

事務局(生活環境グループ)

- 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画に関する情報提供
- 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画関連書類の原案の作成、保管
- 全般における環境への負荷の把握
- 全般における環境への取組みの把握
- システム運用のための教育・訓練の実施

活動組織

環境責任者
(各グループ課長等)

- 所管グループの職員に対して取組みを徹底
- 所管事務事業におけるシステム運用上の取組事項の決定
- 所管事務事業に関する環境関連法規の整理、その遵守状況の把握
- 所管事務事業における環境に関する苦情・要望・問題について適切な対応(記録)
- システムの運用状況を確認するための内部環境監査への協力

環境主任(各グループ1名推薦)

- 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画の運用における各グループのリーダー
- 所管事務事業における環境への負荷データの把握
- 所管グループにおける環境への取組状況の把握

全 職 員

3 . 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画と行政計画、条例等との関連

取組の範囲	大阪狭山市の行政計画、条例等	環 境 方 針	具体的な取組み
自ら管理できる取組み	大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） （旧）大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（エコプランおおさかさやま） エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく特定事業者における中長期計画	電力や化石燃料の使用抑制による二酸化炭素排出量の削減 廃棄物の削減に向けた3 R（Reduce = 廃棄物の発生抑制、Reuse = 再使用、Recycle = 再資源化）の取組み 水資源の使用抑制 グリーン購入の推進 環境関連法規等の遵守と環境の保全・改善 環境に対する理解を深めるための環境教育の充実	エコオフィス活動の実践 温室効果ガスの削減 職員への環境教育の計画的な実施 グリーン購入の推進 インターネットを活用した申請書等の情報提供 下水道事業の推進等
地域への働きかけにより地域の環境目標、指標の達成をめざす取組み	第五次大阪狭山市総合計画（自然と調和した活力のある快適なまちづくり） 大阪狭山市地球温暖化対策ガイドライン 大阪狭山市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 大阪狭山市分別収集計画 大阪狭山市環境保全に関する基本条例 大阪狭山市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例 大阪狭山市ごみ等のポイ捨て等の防止に関する条例 大阪狭山市廃棄物減量等推進員設置要綱 大阪狭山市ごみ減量対策推進会議設置要綱 大阪狭山市あき地の適正管理に関する指導要綱 大阪狭山市違反簡易屋外広告物撤去活動員に関する要綱	市民及び事業者の皆さまとともに、環境に配慮したまちづくりを推進	ごみ減量化・資源リサイクル推進事業 廃棄物減量等推進員によるごみ減量対策推進会議でのごみ減量・リサイクル推進の啓発 エコフェスタおおさかさやまの実施 大阪狭山市地球温暖化対策設備（エネファーム、蓄電池、電気自動車等充放電設備（V2H）又は電気自動車充電設備）導入促進事業 生ごみ堆肥化容器等の貸与 狭山池まつりを核とした市民環境活動への支援 環境をテーマにした出前講座の実施等
地域での環境と経済の両立をめざす取組み	第五次大阪狭山市総合計画（自然と調和した活力のある快適なまちづくり） 大阪狭山市地球温暖化対策ガイドライン 大阪狭山市有価物回収奨励金交付要綱	環境配慮の視点に立った施策・事業の推進	公共事業の実施における環境配慮 環境・リサイクルフェアの実施 エコフェスタおおさかさやまの実施 グリーン購入の推進 有価物（古紙等）回収奨励金の交付 契約時における環境に配慮した業者を優先することの検討

省エネ化が進んだことにより、平成 27 年 6 月にエネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく特定事業者の指定の取消しを受けています。

4 . 環境目標

大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の取組みを推進するにあたり、全施設に適用する環境目標は次のとおりです。

○活動量目標（エネルギー使用量）

平成 2 6 年度 (単年度目標) (2014 年度)	平成 2 7 年度 (2015 年度)	平成 2 8 年度 (2016 年度)	平成 2 9 年度 (2017 年度)	平成 3 0 年度 (2018 年度)
平成 2 5 年度比				
1 % 減	2 % 減	3 % 減	4 % 減	5 % 減

令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
平成 2 5 年度比				
6 % 減	7 % 減	8 % 減	9 % 減	1 0 % 減

令和 6 年度 (中間目標) (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)	令和 8 年度 (2026 年度)	令和 9 年度 (2027 年度)	令和 1 0 年度 (2028 年度)
平成 2 5 年度比				
1 1 % 減	1 2 % 減	1 3 % 減	1 4 % 減	1 5 % 減

令和 1 1 年度 (2029 年度)	令和 1 2 年度 (長期目標) (2030 年度)	—	—	—
平成 2 5 年度比				
1 6 % 減	1 7 % 減	-	-	-

○温室効果ガス削減目標

長期目標【目標年度：令和12年度（2030年度）】

平成25年度（2013年度）基準年 排出量：4,587 t-CO₂
 平成25年度（2013年度）基準年 比：39.8%（▲1,826 t-CO₂）
 令和12年度（2030年度）排出量：2,761 t-CO₂

平成26年度 （単年度目標） （2014年度）	平成27年度 （2015年度）	平成28年度 （2016年度）	平成29年度 （2017年度）	平成30年度 （2018年度）
平成25年度比				
1～2.5%減	2.5～5%減	5～7.5%減	7.5～10%減	10～12.5%減
令和元年度 （2019年度）	令和2年度 （2020年度）	令和3年度 （2021年度）	令和4年度 （2022年度）	令和5年度 （2023年度）
平成25年度比				
12.5～15%減	15～17.5%減	17.5～20%減	20～22.5%減	22.5～25%減

令和6年度 （中間目標） （2024年度）	令和7年度 （2025年度）	令和8年度 （2026年度）	令和9年度 （2027年度）	令和10年度 （2028年度）
平成25年度比				
25～27.5%減	27.5～30%減	30～32.5%減	32.5～35%減	35～37.5%減

令和11年度 （2029年度）	令和12年度 （長期目標） （2030年度）	—	—	—
平成25年度比				
37.5～40%減	40～42.5%減	-	-	-

○グリーン購入の推進

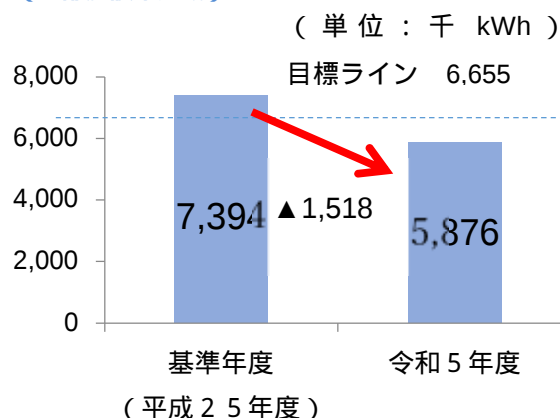
令和2年度 （2020年度）	令和3年度 （2021年度）	令和4年度 （2022年度）	令和5年度 （2023年度）	令和6年度 （中間目標） （2024年度）
毎年度80%以上（金額ベース）				

5 . 運用期間の取組結果と評価 (令和5年度実績)

令和5年4月から令和6年3月までの全施設における取組結果は次のとおりです。

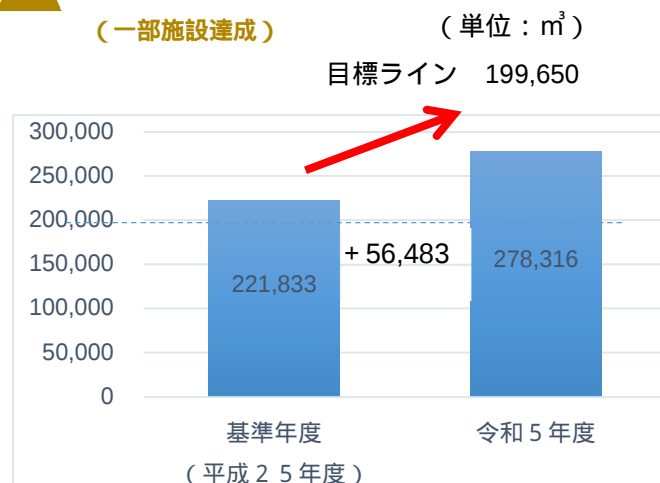
電力使用量 (全施設合計)

○ 達成 目標▲10% 実績▲20.5%
(一部施設未達成)



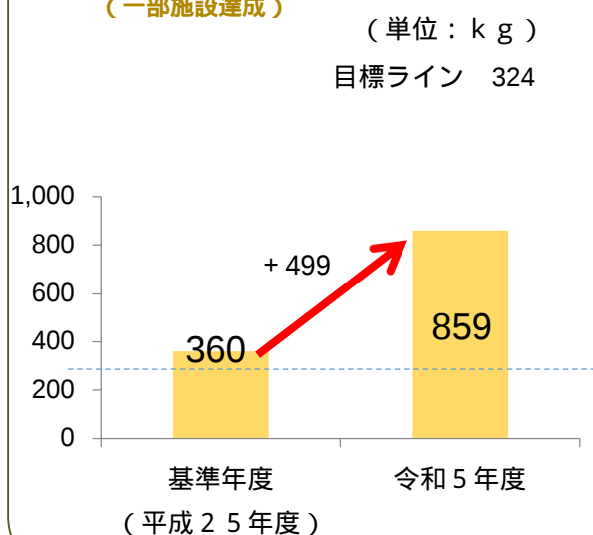
都市ガス使用量 (全施設合計)

△ 未達成 目標▲10% 実績▲25.5%
(一部施設達成)



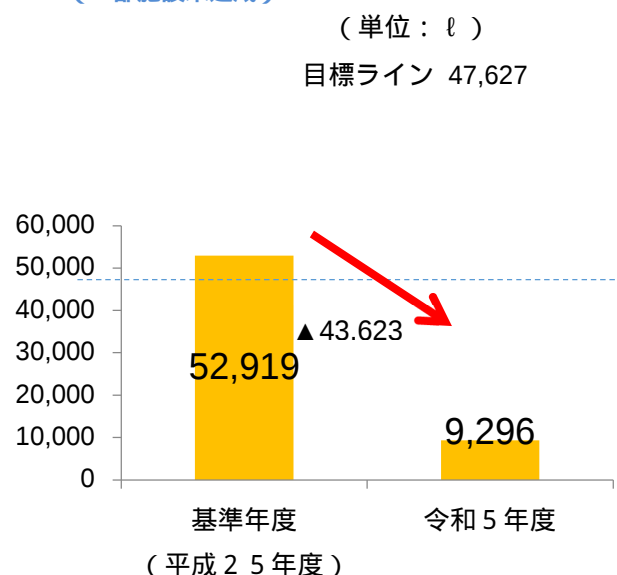
LPG (プロパンガス) 使用量 (全施設合計)

△ 未達成 目標▲10% 実績▲138.4%
(一部施設達成)



灯油使用量 (全施設合計)

○ 達成 目標▲10% 実績▲82.4%
(一部施設未達成)



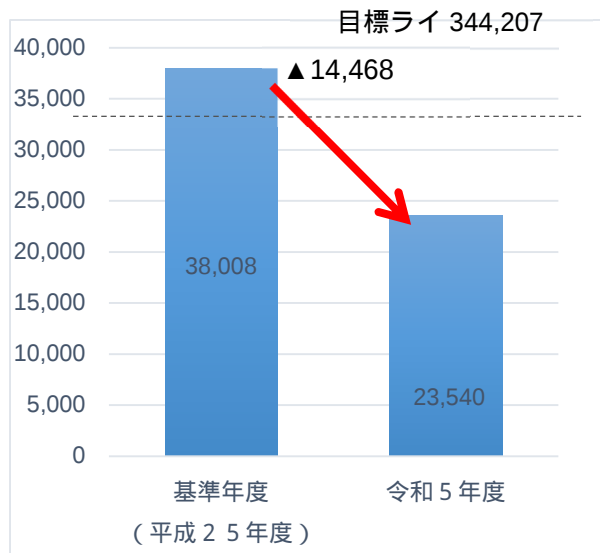
平成27年度総合体育館において、シャワーをボイラー式 (灯油) から給油式 (プロパン) に改修したことにより、プロパンの使用量が大幅に増加しました。

令和2年度に斎場 (火葬炉) のリニューアルにより、燃料を灯油から都市ガスに変更したことにより、灯油の使用量が大幅に減少しました。

ガソリン使用量（全施設合計）

● 達成 目標▲10% 実績▲38.1%
（一部施設未達成）

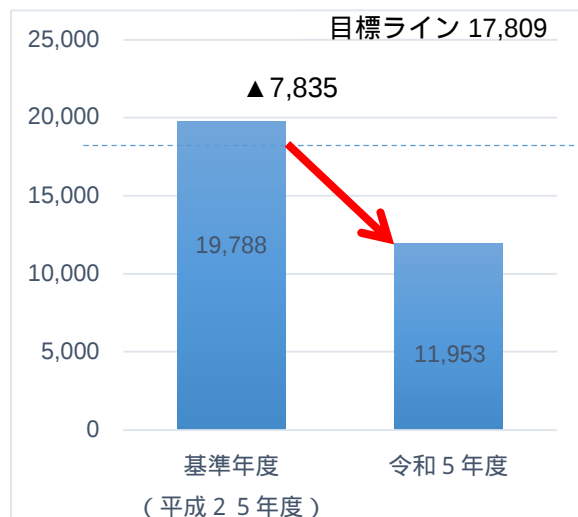
（単位：ℓ）



軽油使用量（全施設合計）

● 達成 目標▲10% 実績▲39.6%
（一部施設達成）

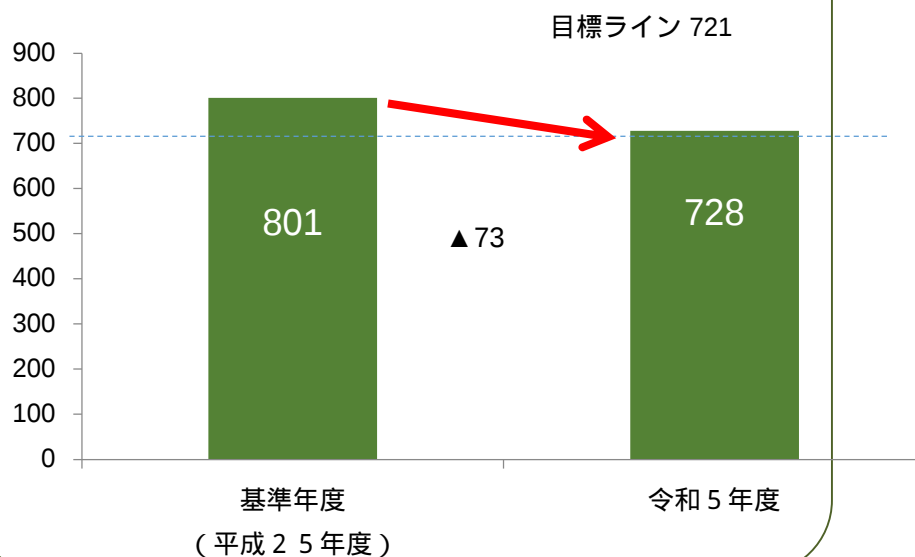
（単位：ℓ）



CNG（圧縮天然ガス）使用量（全施設合計）

● 達成 目標▲10% 実績▲9.1%
（一部施設達成）

（単位：m³）



電力や自動車燃料などのエネルギー使用に基づく温室効果ガス排出量は・・・

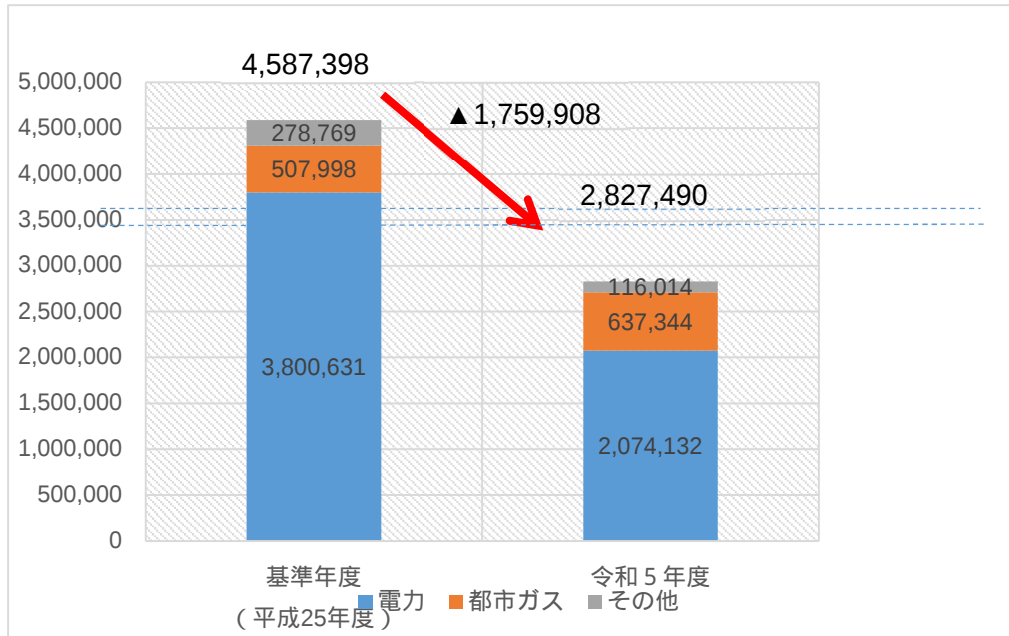
温室効果ガス排出量（全施設合計）（変動排出係数 0.360 を使用しています。）



達成 目標ライン 3,440,549 ~ 3,555,233（単位：kg-CO₂）

（一部施設未達成）令和 5 年度温室効果ガス削減目標 ▲22.5~25%

実績 2,827,490（単位：kg CO₂）

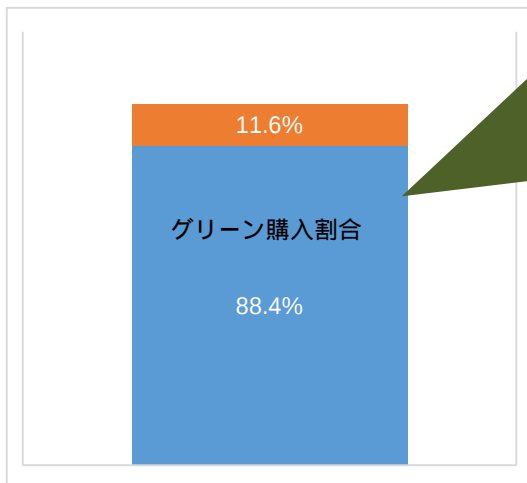


グリーン購入の推進（全施設合計）



達成 目標 80%以上 実績 88.0%

（一部施設未達成）



【金額ベース】

分野	実績額(千円)
紙類	5,795
文具類	3216
機器類（オフィス家具等）	5,156
OA 機器	698
自動車等	2,068
その他の物品	6,005

全施設達成を意味します。

- ほぼ達成であるが、一部施設での未達成を表します。
- 達成していないが、一部施設での達成を表します。

評 価

【内部環境監査員より】

公用車を使用する部署については、行先をまとめたり効率的なルートを考えたりするなどして訪問しており、環境負荷の低減に取り組んでいる。さらに会議のペーパーレス化や業務をエクセル管理してグループ内で共有するなど、どのグループにおいても紙の使用量の削減に努めている。

また、策定中の立地適正化計画に環境に配慮したものを検討していたり、学校における環境教育を実施したりと、担当グループ独自の取り組みも行っていた。

今後も引き続き、環境負荷の軽減に対する意識を持って、省エネルギーに取り組んでいただきたい。

市事務事業全体における温室効果ガス排出量

温室効果ガスの排出量を公表します

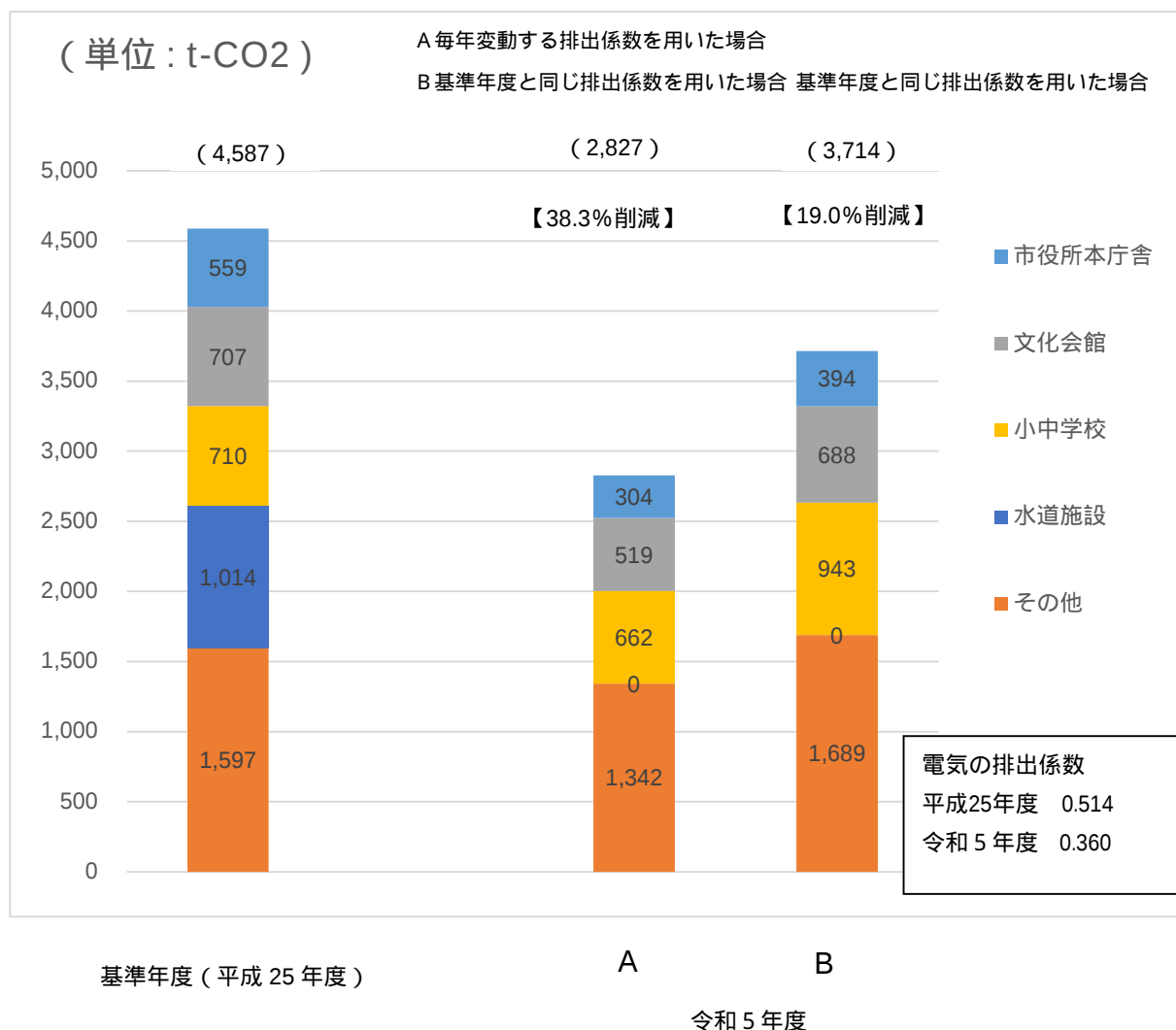
市では、「大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、市で実施する事務事業について環境配慮を徹底するとともに、市内の公共施設で使用するエネルギー（電気やガス）、公用車で使用する燃料などの使用量を削減することで、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。計画では、国の「地球温暖化対策計画」に即して平成25年度を基準年度とし、長期目標年度を令和12年度（2030年度）と定め、温室効果ガスの排出量の39.8%削減を目標としつつ、中間目標【本計画の削減目標年度：令和6年度（2024年度）】を25.7%削減に設定しています。

令和5年度（2023年度）の温室効果ガス排出量は、38.3%の減少となりました。（**A**のグラフ）

なお、実際のエネルギー使用量による比較ができるよう、排出係数を基準年度と同じ値を用いて算出した場合の排出量は、基準年度比で19.0%の減少となりました。（**B**のグラフ）

今後も、引き続き省エネ対策に取り組み、温室効果ガスの排出量の削減に努めていきます。

排出係数とは、温室効果ガスを算出するために用いられる値です。電気の排出係数については、発電所（原子力や火力など）の稼働状況などにより毎年度変動し、国から各電力会社の排出係数が公表されます。



内部環境監査の実施

令和５年度の環境目標の達成状況や環境への取組みの自己チェック等の項目について、内部環境監査を実施しました。

今回の内部環境監査は、環境負荷の軽減に関する自己チェックリストや施策の取組みに関する項目のほか、グリーン購入の実績、節電対策、以前の監査結果への対応などについて実施しました。

この結果、是正措置（要求）をすべきものではありませんでした。

監査対象であった各部（グループ）とともに資源リユースに努めるなど、高い意識をもって平素の事務事業における環境負荷の軽減を推進しました。

	評価状況			
	A：適合	B：注意	C：不適合（軽微）	D：不適合（重大）
項目数	19	2	0	0
割合	90%	10%	0%	0%

6．環境関連法規の遵守と訴訟の有無

環境関連法規の遵守評価の結果、法規の違反はなく、遵守されていることを確認しました。また、環境関連の訴訟等ありませんでした。

7．エコアクション21の取組みと今後について

本市では、これまで実施してきたエコアクション21（環境経営システム）を令和３年３月で、一旦終了することとし、この環境負荷の取組みのツールとして、大阪狭山市エコアクション21イニシアティブ・プログラムの導入を地域の事業者の皆さまにも周知・啓発し、環境負荷の低減につとめてまいりますとともに、地域全体へと取組みを広げてまいりたいと考えております。

今後は引き続き、大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）により、環境への取組みを効果的・効率的に運用・維持し、温室効果ガス排出量の削減への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめたうえ、評価して取組みを推進していきます。

8 . 全体評価

本市では、平成20年8月から「エコアクション21環境マネジメントシステム」の運用を開始し、平成21年3月に市役所本庁舎・消防本部庁舎を認証取得・登録して以降、保健センターやコミュニティセンター、文化会館、総合体育館など、登録施設の拡大を図り、市の主要施設31施設の認証・登録を完了しました。

令和5年度の環境目標の達成状況については、都市ガス及び天然ガスの使用状況においては、各施設でばらつきが見られるものの、電力、灯油、ガソリン等の使用量が削減目標を達成したことにより、結果として、施設全体としての温室効果ガスの排出量は、平成25年度比で令和5年度の目標22.5～25.0%削減に対して、実績38.3%の減少となりました。

しかし、排出係数を基準年度と同じ値を用いて算出した場合の排出量は、基準年度比で実績19.0%の削減となり、目標値には未達成となりました。

また、新型コロナウイルスの位置づけは、これまでの「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」としていたが、令和5年5月8日から「5類感染症」となりました。

5類感染症移行後の対応については、個人の選択を尊重し、自主的な取組みをベースとした対応となり、全施設については、利用率を高めながら、かつ、消費エネルギーの削減に努めています。

また、全庁的には、ノー残業デーの推進及び働き方の見直しを実施したことにより電力量削減など、省エネ化に寄与していました。

今後も、市民の皆様にご利用いただく施設の利用率を高めながら、かつ、消費エネルギーを削減していくという課題に対して、既存の取組みの一層の強化に加え、新たな対策の検討も必要となってきます。

また、各施設の利用者に対しても、省エネに対する理解をより一層深めていただくための啓発活動にも積極的に取り組むとともに、各施設のエネルギー使用量の更なる圧縮を行い、温室効果ガスの削減に取り組んでいく必要があります。

本市では、「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、令和12年度（2030年度）までの11年間で長期目標を達成するため、職員一人ひとりが環境意識をさらに高め、日常のオフィス活動はもとより、各事務事業においても、より一層、環境配慮の視点に立った企画・立案に努めるなど、環境都市としてさらなる高みをめざし、全職員及び関係機関が一丸となり環境への負荷軽減に取り組んでいきます。

資 料 編

エコ川柳コンテスト入選作品

7月20日～8月31日に公募した「大阪狭山市エコ川柳コンテスト」への応募作品113点の中から、大阪府地球温暖化防止活動推進センターの協力により、入選作品10点を選出しました。

たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

電気代 節電しろと 値上げされ

うどん人

返納後 足で浮かした 燃料費

かぼくのかぼ

お下がりは 人から人へ 福(服)リレー

くろにゃん

無駄明かり スイッチオフで エコがオン

てぬき親父

我が脂肪 再利用したい エネルギー

埼玉県在住

図書館で シェアする本と 冷暖房

やまね

風呂の湯は 洗濯打ち水 二湯流

のりのり

エコ通勤 徒歩で減らす 交通量(CO₂量)

4児の父ちゃん

口癖は「知らんけど」から「要らんけど」

やすよ

生ゴミに 根も葉も無いと 噂され

八木五十八

【順不同】

施設別温室効果ガス排出原単位量一覧表（固定排出係数:0.514）

○基準年度（２０１３年度）と２０２３年度との比較です。

○原単位とは、一定量の生産物をつくるために使用する、または排出するモノや時間などの量のことを言います。

例えば、一定量の生産物をつくるのに必要とするエネルギーのことをエネルギー原単位、一定量の生産物をつくる過程で排出する二酸化炭素排出量を排出原単位と呼びます。

温室効果ガス排出原単位

=

温室効果ガス排出量(kg-CO2)

エネルギー使用量と密接な関連を持つ値（指数値）

部局	※排出係数 〔0.514〕	施 設 名	温室効果ガス排出量 (kg-CO2)	原単位			増・減
				指数値	指数	温室効果ガス排出原単位	
市長部局	2013年度	文化会館	706,763	220,202	利用者数(人)	3.2096	増
	2023年度		688,233	175,295		3.9261	
	2013年度	斎場・霊園	119,919	560	火葬件数(件)	214.1405	減
	2023年度		160,617	1,014		158.3994	
	2013年度	下水道事業(マンホール・汚水中継)	144,177	1,314,047	送水量(m³)	0.1097	増
	2023年度		122,583	3,504		34.9837	
教育委員会	2013年度	公民館・図書館	200,117	329,016	利用者数(人)	0.6082	増
	2023年度		188,971	222,814		0.8481	
	2013年度	総合体育館	128,649	111,409	利用者数(人)	1.1547	増
	2023年度		151,514	66,635		2.2738	
	2013年度	池尻体育館	42,477	24,816	利用者数(人)	1.7117	増
	2023年度		57,132	24,649		2.3178	
	2013年度	市民総合グラウンド・山本テニスコート	23,867	43,719	利用者数(人)	0.5459	減
	2023年度		22,516	69,851		0.3223	
	2013年度	野球場	18,723	16,325	利用者数(人)	1.1469	減
	2023年度		13,105	13,527		0.9688	
	2013年度	ふれあいスポーツ広場	15,664	23,065	利用者数(人)	0.6791	増
	2023年度		16,931	20,567		0.8232	
	2013年度	青少年野外活動広場	11,433	51,694	利用者数(人)	0.2212	減
	2023年度		9,844	53,226		0.1849	
	2013年度	大野テニスコート・第三少年運動広場	5,323	24,997	利用者数(人)	0.2129	減
	2023年度		2,341	16,372		0.1430	
	2013年度	スポーツ広場	54	7,311	利用者数(人)	0.0074	
	2023年度		0	(青少年野外活動広場に含む)			
	2013年度	南青少年運動広場	0	21,903	利用者数(人)	0.0000	増
	2023年度		63	13,441		0.0047	

※ 電力の実排出係数は、0.514kg-co2/kWh（平成２５年度）を使用しています。（電力会社名：関西電力）

部の運営方針カード（令和５年度）

部（局、室）名 危機管理室

◎令和５年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和５年度に取り組む内容】

- ・市が災害時のために備蓄しているアルファ化米等の備蓄食糧を賞味期限が切れる前に、市及び自主防災組織の訓練時や生活困窮者向けに提供します。

【達成状況の確認・評価】

- ・市が災害時のために備蓄しているアルファ化米等の備蓄食糧を賞味期限が切れる前に、市及び自主防災組織の訓練時や生活困窮者向けに提供した。

部（局、室）名 政策推進部

◎令和５年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和５年度に取り組む内容】

- ・内部資料を印刷する際は、裏紙の使用を徹底し、紙の資源リサイクルに努めます。
- ・会議等において、ペーパーレス化を順次進め、紙の使用量の削減に努めます。
- ・繁忙期等の特殊な事情を除き、毎週水曜日のノー残業デーの定時での帰宅を促進し、残業による光熱水費の削減に取り組めます。
- ・消耗品、印刷製本、備品購入等において、エコ商品、リサイクル原料の使用品を購入するなど環境負荷の低減に配慮します。

【達成状況の確認・評価】

- ・内部資料を印刷する際は、裏紙の使用を徹底し、紙の資源リサイクルに努めた。
- ・部内会議をはじめ、各種会議におけるペーパーレス化を推進し、紙の使用量の削減に努めた。
- ・繁忙期等の特殊な事情を除き、毎週水曜日のノー残業デーの定時での帰宅を促進し、残業による光熱水費の削減に努めた。
- ・消耗品、印刷製本、備品購入等において、エコ商品、リサイクル原料の使用品を可能な限り購入するなど環境負荷の低減に努めた。

◎令和５年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和５年度に取り組む内容】

空調稼働及び室内照明の縮減

- ・夏冬の空調稼働の開始時刻を遅らせ、終了時刻を早めることにより、空調機器の電力使用量の縮減を図ります。
- ・昼休みの執務室内の消灯（窓口部門は除く）や、夏季期間中において、庁舎内を午後７時に一斉消灯することなどにより、節電対策に努めます。

グリーン購入の推進

- ・消耗品、印刷製本、備品購入等において、エコ商品、リサイクル原料の使用品を購入するなど環境負荷の低減に配慮します。
- ・ペーパーレス化の会議を浸透させ、システムを活用し、紙の使用量の削減を図ります。

【達成状況の確認・評価】

- ・夏季及び冬季の省エネ月間を実施し、空調機器の電力使用量の縮減を図った。
- ・昼休みの執務室内の消灯（窓口部門は除く）や夏季期間中において、庁舎内を午後７時に一斉消灯し、節電対策に努めた。
- ・内部資料を印刷する際は、個人情報に関する記載がないことを確認したうえで裏紙を使用し、可能な限り資源リサイクルに努めた。
- ・消耗品、印刷製本などにおいて、エコ商品やリサイクル原料の使用品を購入するなど、環境負荷の低減に努めた。
- ・部内会議をはじめ、各種会議において、参加職員それぞれがパソコンを持参し、画面上で資料を確認することでペーパーレス化を図り、紙の使用量の削減を図った。

◎令和5年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和5年度に取り組む内容】

- ・生活保護世帯への家庭訪問や介護認定調査員の訪問調査など、近距離の場合は可能な限り、徒歩や公用自転車を利用することで、CO₂の削減に取り組めます。
- ・各部署で始業前や昼休み時の消灯を徹底します。
- ・所管する各施設では、グリーンカーテンの設置やこまめな消灯等の徹底により節電対策を推進します。
- ・所管する各施設では、夏季や冬季には、高齢者、障がい者、乳幼児やその保護者が快適に利用することができるよう、新型コロナウイルスの感染予防のための換気を適宜行いながら、室温調整をこまめに行うなど、省エネルギーの推進に取り組めます。
- ・ノー残業デー（毎週水曜日）の徹底及びグループ独自のノー残業デーにより光熱水費を削減します。
- ・プレビュー画面の利用及び確認、裏紙の利用等により、コピー用紙やOA印刷用紙の使用を削減します。

【達成状況の確認・評価】

- ・生活保護世帯への家庭訪問や介護認定調査員の訪問調査など、近距離の場合は可能な限り、徒歩や公用自転車を利用することで、CO₂の削減に取り組んだ。
- ・各部署で始業前や昼休み時の消灯を徹底できた。
- ・所管各施設では、グリーンカーテンの設置やこまめな消灯等の徹底により節電対策を推進した。
- ・所管する各施設では、夏季や冬季には、高齢者、障がい者、乳幼児やその保護者が快適に利用することができるよう、新型コロナウイルスの感染予防のための換気を適宜行いながら、室温調整をこまめに行うなど、省エネルギーの推進に取り組めた。
- ・ノー残業デー（毎週水曜日）の徹底及びグループ独自のノー残業デーにより光熱水費を削減した。
- ・プレビュー画面の利用及び確認、裏紙の利用等により、コピー用紙やOA印刷用紙の使用を削減した。

◎令和5年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和5年度に取り組む内容】

- ・公園・緑道の照明をLED化し、CO₂の排出を抑制します。
- ・電気バスの導入によりCO₂排出を抑制します。

【達成状況の確認・評価】

- ・公園・緑道の照明のLED化により、電気料金、CO₂の抑制を図った。
- ・令和5年2月導入の電気バスにより、低振動・低騒音、CO₂排出量の大幅削減を図った。

◎令和5年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和5年度に取り組む内容】

- ・毎週水曜日のノー残業デーの徹底及び室独自のノー残業デーを設定し、時間外勤務の縮減により、光熱水費の使用量の削減に取り組めます。
- ・OA機器の印刷において、裏面使用を徹底するとともに、室内の情報共有にLoGoチャットを活用するなど、紙の使用量の削減に努めます。
- ・会計事務に関する添付書類の周知徹底に努め、引き続き、紙の使用量の削減を進めます。

【達成状況の確認・評価】

- ・毎週水曜日のノー残業デーのほか、毎週月曜日を独自のノー残業デーに設定し、定時の帰宅を促進した。
- ・内部資料の印刷時における裏面の再利用や、LoGoチャット活用による情報共有などにより、紙の使用量の抑制に努めた。
- ・伝票審査を通して、必要な書類の周知を行い、会計事務担当者が添付書類を再点検することにより紙の削減を図った。

◎令和5年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和5年度に取り組む内容】

- ・紙の使用量を必要最小限度に抑えるとともに、再生を意識した分別を行います。
- ・事務用消耗品をはじめ、事務用品において、エコマークやグリーン購入法適合マークの表示がされている商品を購入するなど環境負荷の低減に配慮します。
- ・公共施設等における環境マネジメントシステムの適正な運用に努めるとともに、市民との協働によるごみ減量対策推進会議において調査・研究及び啓発活動を行い、ごみの減量化とリサイクルの推進を図ります。
- ・ガソリン使用量の削減をめざし、現場確認や出張、研修の際、最適なルートを選択や乗り合いをすることで自動車走行距離を短縮するとともに、市役所周辺については、徒歩での移動を心がけます。また、エコドライブの実践により燃費の向上を図ります。

【達成状況の確認・評価】

- ・紙の使用量を必要最小限度に抑えるとともに、再生を意識した分別を行った。
- ・事務用品などの消耗品は、エコ商品やリサイクル原料の使用品を購入した。
また、講座やイベント等で使用する物品についてもリサイクル原料の製品で、繰り返し使用できるよう環境負荷の低減に配慮した。
- ・公共施設等における環境マネジメントシステムの適正な運用に努めるとともに、市民との協働によるごみ減量対策推進会議において調査・研究及び啓発活動を行い、ごみの減量化とリサイクルの推進を図った。
- ・ガソリン使用量の削減をめざし、現場確認や出張、研修の際、最適なルートを選択や乗り合いをすることで自動車走行距離を短縮するとともに、市役所周辺については、徒歩での移動を心がけた。また、エコドライブの実践により燃費の向上を図った。

◎令和５年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和５年度に取り組む内容】

- ・選挙において設置するポスター掲示板の材料について、再生可能なボードを使用することにより、環境負荷の軽減に努めます。
- ・選挙の啓発物品について、エコ商品の選択に努め、環境に配慮した取組みを進めます。
- ・省エネルギー対策として、始業前や昼休み時の休憩時間に執務室の電気の消灯を実施し、また、室内の温度管理を徹底し、電気使用量の削減に努めます。

【達成状況の確認・評価】

- ・令和５年４月に執行した統一地方選挙において、市内１１７箇所に設置するポスター掲示板の材料については、再生可能なボードを使用することにより、環境負荷の軽減に努めた。
- ・省エネルギー対策として、始業前や昼休み時の休憩時間に執務室の電気の消灯を実施。また、温度計を確認することにより、室内の温度管理を徹底し、電気使用量の削減に努めた。

◎令和５年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和５年度に取り組む内容】

事務の電子化の推進

- ・議会における事務の電子化を推進し、引き続き紙の使用量の削減に取り組めます。

【達成状況の確認・評価】

- ・市議会議員、議会事務局が利用しているグループウェアを最大限活用することで、各部局からの情報提供など、資料のペーパーレス化が進み、紙の使用量を削減することができた。

◎令和5年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和5年度に取り組む内容】

- ・紙の両面刷り、裏紙使用を心掛けます。
- ・執務室を長時間離れる場合には、パソコンの電源を落とします。
- ・執務室の消灯など、時間外の節電に努めます。
- ・公用車のエコ運転に努めます。
- ・消耗品のグリーン購入を積極的に活用します。
- ・環境問題について、職員の意識向上に努めます。
- ・施設の改修工事にあわせて、エネルギー効率の良い設備や、クリーンエネルギー設備を積極的に導入し、低酸素社会の実現に向けた施設整備を行います。

【達成状況の確認・評価】

- ・紙の両面刷り、裏紙使用に取り組んだ。
- ・執務室を長時間離れる場合には、パソコンの電源を落とし省電力に努めた。
- ・執務室の消灯を小まめに行い、執務時間外の節電に努めた。
- ・公用車のエコ運転を行った。
- ・消耗品のグリーン購入を積極的に行った。
- ・環境問題について、職員が心がけ意識向上に努めた。
- ・施設の改修工事で、エネルギー効率の良い設備機器を選択し、クリーンエネルギー設備を積極的に導入し、低酸素社会の実現に向けた施設整備を行った。

◎令和5年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和5年度に取り組む内容】

- ・グリーン購入を推進します。
- ・再生砂、再生路盤材、再生アスファルト混合材の使用など、資源の有効利用及び廃棄物の排出削減に努めます。
- ・工事施工箇所が他工事と重複する可能性のある箇所は、道路管理者及び道路占用者と調整し、計画的かつ効率的に工事を行い、廃棄物の排出抑制など環境負荷の軽減に努めます。

【達成状況の確認・評価】

- ・グリーン購入を推進した。
- ・再生砂、再生路盤材、再生アスファルト混合材の使用など、資源の有効利用及び廃棄物の排出削減に努めた。
- ・工事施工箇所が他工事と重複する可能性のある箇所は、道路管理者及び道路占用者と調整し、計画的かつ効率的に工事を行い、廃棄物の排出抑制など環境負荷の軽減に努めた。

◎令和5年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和5年度に取り組む内容】

- ・本庁舎、幼稚園、こども園、“ぽっぽえん”、“UPっふ”、放課後児童会での備品購入については、グリーン購入の取組みを進めるとともに、ごみの削減や資源リサイクルを図るよう子どもや保護者に啓発を進めます。
- ・グリーンカーテンや、農作物の栽培、紙パック・古紙回収などを通して、園児や保護者に体験学習を行います。

【達成状況の確認・評価】

- ・備品・消耗品の購入については、環境への負荷に配慮し、可能な限りグリーン購入に努めました。また、幼稚園・こども園の園だより等において、ごみの削減や資源リサイクル、省エネ等の環境に配慮する内容を掲載し、子どもや保護者への啓発に努めた。
- ・各施設において、農作物の栽培、ベルマーク・紙パック・PETボトルのキャップ・プルトップの回収などを通して、園児や保護者、利用者にも啓発を行い、環境負荷の軽減に努めた。
- ・農作物の栽培（幼稚園・こども園・ぽっぽえん）
- ・ベルマークの回収（幼稚園・こども園・ぽっぽえん・UPっふ）
- ・紙パック・PETボトルのキャップ回収（幼稚園・こども園）
- ・プルトップの回収（幼稚園・こども園・ぽっぽえん・UPっふ）

令和5年度環境活動計画書（施策関連分）

政策体系	所属	事業名	事業内容	取組内容	最終目標値	項目	環境活動計画				最終実績値
							第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1. 子どもや若者の未来が輝くまちづくり ①安心して子育てができる環境づくり	子育て支援グループ	所管事務全般	児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当などの手当関連事業、児童家庭相談事業などの子育て関連事業に関する事務。	毎週水曜日及び金曜日のノー残業デーを実施し、光熱水費削減する。	R5年度毎週水曜日（祝日を除く）50日中70%の35日以上	活動計画	・毎週水曜日及び金曜日はノー残業デーを徹底する。朝礼でのノー残業デーの啓発	・毎週水曜日及び金曜日はノー残業デーを徹底する。朝礼でのノー残業デーの啓発	・毎週水曜日及び金曜日はノー残業デーを徹底する。朝礼でのノー残業デーの啓発	・毎週水曜日及び金曜日はノー残業デーを徹底する。朝礼でのノー残業デーの啓発	50日
				園庭の緑化推進を図る。また、ごみの分別リサイクルを徹底し、廃棄物の減量化に取り組み、グループウェアを活用し、事務連絡等併せて、園児の各家庭に対しても、エコ推進の啓発を行う。		実施状況	達成	達成	達成	達成	
		保育・教育事業	保育サービズ及び幼児幼稚園教育の充実と質の確保を図るとともに、各運営の効率化・安定化を進める。 また、園児が自然に親しむ環境教育の場づくりをめざす。	園庭の緑化推進を図る。また、ごみの分別リサイクルを徹底し、廃棄物の減量化に取り組み、グループウェアを活用し、事務連絡等はプリントせず回収機能を使用する。	エコ推進啓発記事（各園2回以上）掲載	活動計画	・園庭に草花を植栽 ・園だよりにてエコ推進啓発記事を掲載	・園庭に草花を植栽 ・園だよりにてエコ推進啓発記事を掲載	・園庭に草花を植栽 ・園だよりにてエコ推進啓発記事を掲載	・園庭に草花を植栽 ・園だよりにてエコ推進啓発記事を掲載	（こども園：1回、東野幼稚園：2回、半田幼稚園：2回、東野幼稚園：2回）
	放課後こども支援グループ	放課後児童会事業	放課後児童会事業に関する事務。	・放課後児童支援員へ節電などの省エネルギー活動（エアコンの適正温度利用、裏紙の利用等）について指導する。 ・毎週水曜日のノー残業デーを完全実施することにより、省エネルギー・省資源に取り組む。 ・グループウェアを活用し、事務連絡等はプリントせず回収機能を使用する。	令和5年度中、ノー残業デー実施率90%	実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成	概ね達成	令和5年度中、ノー残業デー実施率90%
	学校教育グループ	学校教育管理事業	児童・生徒の発達段階に応じた環境教育に積極的に関わり、また、学校において、その資料を基に教科授業における環境教育の取組みや総合的・横断的な環境教育の取組みについて実施するよう啓発を行う。	環境に関する資料の収集と、学校への情報提供を行う。また、学校において、その資料を基に教科授業における環境教育の取組みや総合的・横断的な環境教育の取組みについて実施するよう啓発を行う。	学校10施設に対して、年1回以上の情報提供と学校における実践。	活動計画	年間を通じて環境活動を行うための会議や情報提供を行う。	年間を通じて環境活動を行うための会議や情報提供を行う。	年間を通じて環境活動を行うための会議や情報提供を行う。	年間を通じて環境活動を行うための会議や情報提供を行う。	各学校が、環境教育やSDGsの取組みに積極的に取組むことができた。 来年度も引き続き、総合的な学習の時間等を用いて環境教育に取組むについて実施できるように啓発していく。
1. 子どもや若者の未来が輝くまちづくり ②生きる力を伸ばす教育環境づくり	学校教育グループ	給食残飯引取業務	給食残飯及び調理屑の引取排出業務を委託し、養豚飼料としてリサイクルを行う。	残飯をゴミとして処分しないて飼料とし、リサイクルする事で環境負荷を軽減する。	平成30年度を基準年度とし、毎月ドラム缶1本（1500ℓ）残飯を減らす。	活動計画	残飯を、飼料にリサイクルする	残飯を、飼料にリサイクルする	残飯を、飼料にリサイクルする	残飯を、飼料にリサイクルする	3カ月でドラム缶1本（1500ℓ）残飯を減らすことができた。
	教育総務グループ	ノー残業デー啓発事業	毎週水曜日のノー残業デーには、月末・月初処理等特別な事情を除き、定時での帰宅を促し、職員健康増進を図りながら残業による人件費の抑制及び光熱水費の削減を目指す。	毎週水曜日のノー残業デーには、月末・月初処理等特別な事情を除き、定時での帰宅を促し、職員の健康増進を図りながら残業による人件費の抑制及び光熱水費の削減を目指す。	ノー残業デーにおける残業者数0名（繁忙期等特別な事情がある場合を除く）	活動計画	啓発を行い、各職員へ計画的な業務遂行を促す。	啓発を行い、各職員へ計画的な業務遂行を促す。	啓発を行い、各職員へ計画的な業務遂行を促す。	啓発を行い、各職員へ計画的な業務遂行を促す。	特別な事情がある場合を除き、ノー残業デーにおける残業者数を0名にした。
	社会教育グループ	所管事務全般	青少年健全育成事業、スポーツ振興管理事業などの社会教育関連事業に関する事務	紙の削減（裏紙の活用、ネット掲載やメールでの添付による印刷物の削減）	年間通じた裏紙の利用、インターネット掲載等	活動計画	裏紙の利用 インターネット掲載等の実行	裏紙の利用 インターネット掲載等の実行	裏紙の利用 インターネット掲載等の実行	裏紙の利用 インターネット掲載等の実行	年間通じた裏紙の利用、インターネット掲載等達成
	福祉グループ	所管事務全般	障がい者福祉、地域福祉、民生委員推薦会、更生保護団体、社会を明るくする運動などに関する事務	ノー残業デー（毎週水曜日）の徹底および時間外勤務の削減により、省エネルギー・省資源方法 ＝グループの全職員が毎週水曜日のノー残業デーを徹底するとともにそれ以外の時間外勤務についても削減に努める。 効果＝事務所の電気・水の使用量を削減できる。	・福祉グループの全職員がノー残業デーにおいて、残業日数を0日とする。 令和5年度年間日数49日（1月3日及び祝日を除くすべての水曜日）	活動計画	毎週水曜日のノー残業デーを徹底するとともに時間外勤務の削減を図ることにより、光熱水費の削減を目指す。	毎週水曜日のノー残業デーを徹底するとともに時間外勤務の削減を図ることにより、光熱水費の削減を目指す。	毎週水曜日のノー残業デーを徹底するとともに時間外勤務の削減を図ることにより、光熱水費の削減を目指す。	毎週水曜日のノー残業デーを徹底するとともに時間外勤務の削減を図ることにより、光熱水費の削減を目指す。	・福祉グループの全職員がノー残業デーにおいて、残業日数を0日であった。 令和5年度年間日数49日（1月4日及び祝日を除くすべての水曜日）
	健康推進グループ	健康大阪茨山21計画推進事業・成人保健事業・保健センター関連事業	・各種健康教室等の実施 ・訪問等による公用車の利用	・上記事業を積極的に実施することで、健康寿命の延伸につながる。さらに健康な高齢者が徒歩や公共交通機関を利用することでエコにつながる。 ・上記事業を周知し、参加人数を増やす。 ・エコドライブの推進	燃料消費量削減 年間使用量 900ℓ	活動計画	エコドライブの周知	エコドライブの周知	エコドライブの周知	エコドライブの周知	年間使用量968.1ℓ
2. 健康でいきいきと暮らせるまちづくり ④地域福祉の推進						実施状況	達成	達成	達成	達成	
						活動計画	概ね達成	概ね達成	概ね達成	概ね達成	
2. 健康でいきいきと暮らせるまちづくり ⑤健康づくりや医療体制の充実	教育施設グループ	大阪茨山市立東小学校増築工事	環境に関する苦情の無い工事業現に努める。	利用者への負荷を低減するよう工程を調整した上で施工する。また、低騒音型の機械の使用等により工事騒音、振動防止に取り組む。	左記項目を実施	活動計画	工事騒音・振動防止に取り組み	工事騒音・振動防止に取り組み	工事騒音・振動防止に取り組み	工事騒音・振動防止に達成	
						実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成	概ね達成	

令和5年度環境活動計画書（施策関連分）

政策体系	所属	事業名	事業内容	取組内容	最終目標値	項目	環境活動計画				最終実績値
							第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
2. 健康でいきいきと暮らせるまちづくり ⑥高齢者が安心して暮らせる地域づくり	高齢介護グループ	介護認定審査事業	介護保険の被保険者が介護サービスを利用するためには、介護認定調査員が被保険者の心身の状況を調べるため訪問調査した調査票をもとに、一次判定(コンピュータ判定)により要介護状態区分を導き出す。調査票の結果と主治医意見書をもとに、二次判定(介護認定審査会)により申請者の介護度を決定する。	介護認定調査員が訪問調査を行う際に、徒歩圏は徒歩又は自転車により訪問し、同方面の場合は乗り合いにより訪問すること。公用車の利用を控えたり、訪問先が同じ場合は、1回の公用車利用で複数件調査を行うことで、公用車利用削減につながることで、CO2排出の削減ができる。	年間訪問回数約1,400件の内、公用車を利用しない回数344件(四半期:86件)	活動計画 徒歩 17件 自転車 16件 乗合 0件 電車 2件 複数件の調査 28件 合計 63件	徒歩 10件 自転車 22件 乗合 5件 電車 5件 複数件の調査 32件 合計 64件	徒歩 8件 自転車 13件 乗合 2件 電車 4件 複数件の調査 17件 合計 44件	251件(四半期:おおよそ63件)		
				毎週水曜日のノー残業デーには、月末・月初処理等特別な事情を除き、定時での帰宅を促し、職員の健康増進を図りながら残業による人件費の抑制及び光熱水費のムダ使いを減らす取組を、ノー残業デーを徹底する取組の中で、職員個々人に光熱水費の大切さを認識してもらい、省エネ活動に対する意識づけを行う。	ノー残業デーにおける残業者数0名(繁忙期等特殊な事情がある場合を除く)	実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成		
2. 健康でいきいきと暮らせるまちづくり ⑦障がいがある人の自立と社会参加の促進	生活支援グループ	所管事務全般	生活保護・中国残留邦人支援・日赤事業・生活困難者支援・その他の支援・措置に関する事務	ケース訪問時に公用自転車を利用することで、ガソリン使用量を削減する。	市役所より2キロ圏内の住居への訪問の内、2割を公用自転車による訪問とする。	実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成	市役所近隣の訪問は徒歩により、公用車の利用を抑え、目標値を概ね達成することができた。	
				毎週水曜日のノー残業デーからのノー残業デーのお知らせメールや、呼びかけにおいて、時間外縮減及び仕事の効率化を図る。	ノー残業デーにおける残業者数0名(繁忙期等特殊な事情がある場合を除く)	活動計画 啓発メール・呼びかけ 実績6週/12週(延べ人数4人)	啓発メール・呼びかけ 実績4週/13週(延べ人数11人)	啓発メール・呼びかけ 実績4週/13週(延べ人数17人)			
2. 健康でいきいきと暮らせるまちづくり ⑧社会保険制度の安定的な運営	保険年金グループ	国民健康保険・後期高齢者医療・福祉医療・国民年金事務全般	国民健康保険の資格の取得・喪失事務。保険料の賦課及び徴収に関する事務。老人医療費・重度障がい者医療費・ひとり親家庭医療費・子ども医療費の助成に関する事務。後期高齢者医療に関する事務。国民年金の取得・喪失に関する事務。国民年金受給に関する事務。	毎週水曜日のノー残業デーの徹底及びグループ独自で毎週金曜日をノー残業デーとし、光熱水費を削減する。	R5年度の氷曜日及び金曜日の日数(月次処理日・祝日を除く)88日中、約80%の70日以上	活動計画 ノー残業デー・当日に朝礼での啓発を行う	ノー残業デー・当日に朝礼での啓発を行う	ノー残業デー・当日に朝礼での啓発を行う	62日(69%)となり、未達成		
				使用紙の削減(コピー用紙・OA印刷用の削減)、プレビュー画面の利用及び確認により印刷枚数を削減する。	R4年度実績(A4換算227,500枚)の1%減である225,225枚以内	実施状況	達成	概ね達成	概ね達成		
3. 自然と調和した活力のある快適なまちづくり ⑨快適で魅力ある都市空間の形成	都市計画グループ	開発指導等所管事務全般	都市計画、建築・開発行為の指導等に関する事務	ガソリン使用量の削減を目指し、開発指導及び建築指導に関する現場確認の際、複数の現場があるときは最適なルートを選択することで自動車走行距離を短縮する。市役所周辺については徒歩での移動を心がける。また、エコドライブの実践により、燃費の向上をはかる。	月毎の走行距離、燃費の把握及びエコドライブ法の周知	活動計画 月毎の走行距離、燃費の把握及びエコドライブ法の周知	月毎の走行距離、燃費の把握及びエコドライブ法の周知	月毎の走行距離、燃費の把握及びエコドライブ法の周知	令和5年度燃料消費量 351.1ℓ		
				低騒音型の機械の使用等により工事騒音・振動防止に取り組む。歩道部分の透水性舗装、微細ミスト等を利用した猛暑対策等、今後も利用できる工法については行う。	騒音・振動苦情件数0件	活動計画 工事騒音・振動防止に取り込む	工事騒音・振動防止に取り込む	騒音・振動苦情件数0件			
3. 自然と調和した活力のある快適なまちづくり ⑩便利で快適な道路環境の形成	土木グループ	道路維持・改良事業	環境に関する苦情の無い工事実施に努める。	公共下水道工事におけるアスファルト合材、砕石などの再生資材の利用。	利用率100%	活動計画 再生資材の利用計画	再生資材の利用計画	再生資材の利用計画	利用率100%		
				現場出土物等で本グループは公用車の使用機会が多く走行距離の数値も高くなるが、「エコドライブ10のすすめ」を心掛けてエネルギーの消費を少なく抑えて低燃費走行の励行に努める。	月ごとの走行距離、燃費の把握及びエコドライブの推進	実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成		
3. 自然と調和した活力のある快適なまちづくり ⑪水とみどり豊かな暮らしのある環境づくり	治水対策グループ	所管事務全般	農業、農業用水路及びため池の管理、農業土木事業、土地改良事業に関する事務	現場出土物等で本グループは公用車の使用機会が多く走行距離の数値も高くなるが、「エコドライブ10のすすめ」を心掛けてエネルギーの消費を少なく抑えて低燃費走行の励行に努める。	月ごとの走行距離、燃費の把握及びエコドライブの推進	活動計画 月ごとの走行距離、燃費の把握及びエコドライブの推進	月ごとの走行距離、燃費の把握及びエコドライブの推進	月ごとの走行距離、燃費の把握及びエコドライブの推進	実績燃費値:11.19km/ℓ		
				無駄な印刷をしないよう、印刷前に必ずプレビュー画面で確認する ・内部資料を印刷する際は、裏紙を使用する	・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料 6,000枚以内	活動計画 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料 6,000枚以内	・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料 6,000枚以内	・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料 6,000枚以内	100%		
経営総務グループ	下水道事業	下水道事業	・内部資料を印刷する際は、裏紙の使用を徹底し、資源リユースに努める	・内部資料を印刷する際は、裏紙を使用する	・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料 6,000枚以内	実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成		
				再生可能資源の有効利用を図り、環境に優しい公園の維持管理を行う。	資源の有効利用 達成	実施状況	資源の有効利用 達成	資源の有効利用 達成	除草・剪定等の業務委託(公園施設112、その他60施設)		

令和5年度環境活動計画書（施策関連分）

政策体系	所属	事業名	事業内容	取組内容	最終目標値	項目	環境活動計画				最終実績値
							第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
3. 自然と調和した生活力のある快適なまちづくり ⑫地域から始める地球にやさしい環境づくり	生活環境グループ	市民協働によるごみ減量啓発活動	市内で行われる各種イベントにおいて、市民に対してごみの減量啓発活動を行う。	今年度は、「孫山池まつり」「環境リサイクル」「はばたきフェスタ」の3イベントにおいてごみ減量啓発活動を実施する。ごみ減量対策推進会議では各イベントにおいて、生ごみの水切りや雑がみの分別推進によるごみ減量効果を掲載したチラシや啓発品を配布し啓発活動を行う。牛乳パック協力会では市民が持参した牛乳パックと箱ティッシュ、キャッチャーバーナーを交換し、資源リサイクルを呼びかける。	啓発チラシ「(画面別)11000枚を配布(ごみ減量対策推進会議)する。	活動計画	啓発チラシ「(画面別)11000枚を配布(ごみ減量対策推進会議)する。	啓発チラシ「(画面別)11000枚を配布(ごみ減量対策推進会議)する。	啓発チラシ「(画面別)11000枚を配布(ごみ減量対策推進会議)する。	啓発チラシ「(画面別)11000枚を配布(ごみ減量対策推進会議)する。	啓発チラシ「(画面別)11000枚を配布(ごみ減量対策推進会議)する。
				【省エネルギー・省資源方法】 →全職員が毎週水曜日のノー残業デーを徹底するとともにそれ以外の時間外勤務の削減を図る。 【効果】 →事務所の電気・水の使用量を削減できる。	ノー残業デーにおける残業者数を減らす0人(繁忙期等特殊な事情がある場合を除く)	実施状況	達成	達成	達成	達成	
3. 自然と調和した生活力のある快適なまちづくり ⑬産業の振興によるにぎわいの創出	産業振興・魅力創出グループ	所管事務全般	農業振興、商工業振興、消費生活、観光施策、労働施策、就労支援などに関する事務			活動計画	毎週水曜日のノー残業デーを徹底するとともに時間外勤務の削減を図ることにより、光熱水費の削減を目指す。	毎週水曜日のノー残業デーを徹底するとともに時間外勤務の削減を図ることにより、光熱水費の削減を目指す。	毎週水曜日のノー残業デーを徹底するとともに時間外勤務の削減を図ることにより、光熱水費の削減を目指す。	毎週水曜日のノー残業デーを徹底するとともに時間外勤務の削減を図ることにより、光熱水費の削減を目指す。	0人
			地域力活性化支援事業補助金交付事務		インターネット掲載（年2種類）	活動計画	インターネット掲載の実行	インターネット掲載の実行	インターネット掲載の実行	インターネット掲載（年2種類）	
4. 豊かな心と文化を育むまちづくり ⑮市民文化・歴史文化の振興	歴史文化グループ	文化財保護推進事業、郷土資料館管理事業、市民館さん事業、埋蔵文化財発掘調査事業、孫山池の歴史発見活用事業、歴史文化管理事業	市内に残る歴史文化遺産について調査し、保護・継承・活用のための文化財保護普及啓発活動を行う。	歴史文化遺産の調査及び文化財保護普及啓発活動の資料に再生紙を利用する。併せて、購入する物品についてはグリーン購入を積極的に進める。	再生紙の利用率90% グリーン購入実績40%	活動計画	各種資料に再生紙を利 用する。グリーン購入を積極的に進める。	各種資料に再生紙を利 用する。グリーン購入を積極的に進める。	各種資料に再生紙を利 用する。グリーン購入を積極的に進める。	各種資料に再生紙を利 用する。グリーン購入を積極的に進める。	再生紙の利用率88% グリーン購入実績24%
						実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成	概ね達成	
4. 豊かな心と文化を育むまちづくり ⑯互いに人権を尊重する共生社会づくり	市民相談・人権啓発グループ	人権啓発・平和事業	基本的な人権の尊重について正しい理解と認識を深めてもらうとともに、自分自身の問題として取り組んでもらえるようあらゆる機会を通じて、市民と協働した人権啓発事業を展開し、人権文化をばくくもまちづくりを進める。また、「核兵器廃絶・平和宣言都市」の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さを訴えるため、平和事業を展開する。	啓発物品を購入し、リサイクル原料を使用したものや繰り返し使用できる製品の購入に配慮する。 3500部 予定)	啓発物品に繰り返し使用できる製品を購入する(リニアファイル 1,700食配布	活動計画	人権啓発協会資料を始める。啓発品に繰り返し使用できる製品を購入する。	人権啓発協会資料を始める。啓発品に繰り返し使用できる製品を購入する。	人権啓発協会資料を始める。啓発品に繰り返し使用できる製品を購入する。	人権啓発協会資料を始める。啓発品に繰り返し使用できる製品を購入する。	啓発品に繰り返し使用できる製品を購入する。
			市が災害時のために備蓄している、アルファ米等の備蓄食料を賞味期限が切れる前に、市及び自主防災組織の炊き出し訓練や生活困窮者に提供している。			実施状況	備蓄食料の提供	備蓄食料の提供	備蓄食料の提供	備蓄食料の提供	アルファ米等の備蓄食料を2,900食配布
6. 施策の推進に向けて ②市民とともにつくる参画と協働のまちづくり	市民相談・人権啓発グループ	広聴・相談事業、男女共同参画推進事業	市民の各種相談に応じるため、法律相談、司法書士相談、行政相談を実施。また、緊急を要するものについては、応急的な対応を実施。 男女共同参画推進条例、男女共同参画推進プランに基づき、男女共同参画推進の指導者や自主グループの養成、または関連団体の活動推進のための「男女共同参画問題啓発冊子」編集、男女共同参画学習活動助成、等の各事業を展開する。男女共同参画社会の実現に向けた拠点として男女共同参画推進センターを市民団体との協働で運営する。	毎週水曜日のノー残業デー遵守による省エネルギー・省資源電子回覧を使用した紙使用削減。 ノー残業デーに超過勤務する年間日数5日以下(50週中の5日以下)		活動計画	毎週水曜日のノー残業デー遵守	毎週水曜日のノー残業デー遵守	毎週水曜日のノー残業デー遵守	毎週水曜日のノー残業デー遵守	1日
			市民公益活動促進補助金交付事務 大阪狭山市市民公益活動促進条例の基本理念に基づき、市民公益活動を促進するため、公募により選定した市民公益活動団体の行う活動に対し補助金を交付し、資金面から支援する。 この資金には、市民から寄せられた寄附金と市からの出資金を積み立てている「大阪狭山市市民公益活動促進基金」を活用している。 生涯学習情報誌「ライフタイム」作成(年4回) この情報誌は、市民の皆様への「学びたい」「学んだことを役立てたい」と思う気持ちをサポートするため市内の団体(グループ、サークル、クラブなど)、企業、学校、個人からの生涯学習情報を収集し、編集している。例年4回(4月・7月・10月・1月)発行。	市民公益活動促進補助金交付(情報誌発行)		実施状況	達成	達成	達成	達成	インターネット掲載(情報誌発行)
6. 施策の推進に向けて ②情報共有と発信の充実	広報プロモーショングループ	広報事業	●毎週水曜日のノー残業デーに残業しないように努め、光熱費などの節約に努める。 ●エコ一徹やフェイスブレイの電源を落として退庁し、光熱費の節約に努める。 ●内部資料を印刷する際は、裏紙の使用を徹底し、資源リユースに努める。	●水曜日の残業0 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料8,000枚以内 ●無駄な印刷をしないよう、印刷前に必ずプレビュー画面で確認する ●内部資料を印刷する際は、裏紙の使用を徹底し、資源リユースに努める		活動計画	水曜日の残業0 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料8,000枚以内	水曜日の残業0 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料8,000枚以内	水曜日の残業0 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料8,000枚以内	水曜日の残業0 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料8,000枚以内	水曜日の残業0 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用料8,000枚以内
						実施状況	達成	達成	達成	一部達成	一部達成

令和5年度環境活動計画書（施策関連分）

政策体系	所属	事業名	事業内容	取組内容	最終目標値	環境活動計画				最終実績値	
						第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
6. 施策の推進に向けた ②持続可能な行政運営	市民窓口グループ（NTT連絡所・コミュニティセンターを含む）	戸籍・住民基本台帳管理事業	紙の使用削減化・リサイクルをグループ内で意識しながら積極的に行う。	事務用品・紙のグリーン購入を積極的に行う。また、通知文書等については、プリントせず、パソコン内で効力発するようにより紙の使用量を抑える。さらに、不要となった紙の再生用紙などへの活用や分別を積極的に行い、リサイクルを推進する。	裏紙の再利用率 100%	活動計画	メール文書等のペーパーレス・裏紙の再利用の励行	メール文書等のペーパーレス・裏紙の再利用の励行	メール文書等のペーパーレス・裏紙の再利用の励行	裏紙の再利用率 100%	
	出納室	会計管理事業	毎週水曜日のノー残業デーの徹底及びグループ独自のノー残業デー（月曜日）の徹底	・グループ内でノー残業デーについて、朝礼時に呼びかけ周知徹底する ・ノー残業デーは、可能な限り定時に帰宅する。	週2回のノー残業デーのうち91%の定時帰宅の達成	実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成	96%	
	企画グループ	企画管理事業	庁議や議会、部長会議等に関する事務や、ニュータウン地区活性化プロジェクト業務、総合戦略および内部統制等の評価等の管理・運営事務を行う上で、資料の作成時に生じる印刷ミス等を減らし、コピー用紙の使用量を削減する。	・グループ内での回覧や資料の共有については可能な限り庁内WEBの回覧機能を活用し、印刷を減らす。また、印刷が必要な内容については、協力面印刷や、NAPPを利用し、印刷枚数を可能な限り減らす。 ・会議等の資料を作成する時は、印刷にかける前に原稿のチェックを十分に行い、すり直し等が生じないようにする。また、可能な限り資料をデータで共有し、印刷枚数を減らす。 ・決裁等の誤字を減らし、打ち出しをする前にパソコンの画面での確認を行うよう啓発し、プリンターでの印刷の回数を減らす。	紙の使用量の削減に努める	活動計画	紙の使用量の削減に努める	紙の使用量の削減に努める	紙の使用量の削減に努める	コピー用紙の使用量を前年比38.7%削減した	
				人事グループ	ノー残業デーの啓発事業	繁忙期等特殊な事情を除き毎週水曜日のノー残業デーのほか各部署でフレックスタイム制を定め、定時での帰宅を促し、残業による人件費の抑制及び光熱水費のムダ使いを減らす取り組みを行う。またノー残業デーを徹底する取り組みの中で、職員一人一人に光熱水費の大切さを認識してもらい、省エネ活動に対する意識づけを行う。	ノー残業デーにおける残業者数0名（繁忙期等特殊な事情がある場合を除く）	活動計画	啓発・見まわり	啓発・見まわり	啓発・見まわり
	総合行政委員会事務局	選挙啓発事業	市民が政治に関心をもち、選挙意識の高揚を図り、明るい選挙の実現を期するとともに、若年者の投票率の向上を目的に、選挙に関する啓発を行う。	選挙啓発用の物品について、グリーン購入法適合商品・エコマーク認定商品を購入する。	購入率100%	活動計画	再生可能なボードを設置	グリーン購入法適合商品・エコマーク認定商品を購入	50%		
	行政取次マネジメント室	公用車管理事業、庁舎管理事業	・公用車の維持・管理、高速道路通行料の支払及び公用車運転業務を行う。 ・エコドライブの啓発を行う。 ・電気使用量、水道使用量の抑制に関する啓発を行う。 ・古紙の再資源化を行う。	＜低公害車の導入＞ 公用車更新時には、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車等の低公害車に切り替え、温室効果ガス排出量の削減を図る。 また、低公害車の設定がない車種については、排出ガス規制適合車、燃費基準達成車、グリーン購入法適合車等、低公害車に連じ環境負荷の低減を実現した自動車の導入を行う。 ＜古紙の再資源化＞ 庁舎で排出された古紙をリサイクル工場リバーパスへ持ち込み、リサイクルすることで循環型社会に取り組む。	古紙の再資源化	活動計画	リサイクルの実施	リサイクルの実施	リサイクルの実施	古紙再生紙・トレットペーパーを使用している。	
				税務グループ	地方税ポータルシステム（e-tax）利用による電子申告事業	地方税ポータルシステム（e-tax）による、給与支払報告書、法人市民税申告書、償却資産税申告書の電子申告の推進。	給与支払報告書、法人市民税申告書、償却資産税申告書の提出について、前年度にそれぞれそれぞれ＋3.0%の電子化を目指す。	活動計画	電子申告の受付および広報活動	電子申告の受付および広報活動	給与支払報告書、法人市民税申告書、償却資産税申告書の提出について広報等で周知し目標値を概ね達成した。
	総務・ICT推進グループ		情報システムの活用等による用紙排出量削減	各グループ等、全庁においてファイルサーバー及び庁内情報システムの活用、ペーパーレス会議システムの活用、裏紙使用、ミスマットの防止の徹底についての啓発等を行っていく。	各グループへの通知、照会メールを送信するたびに裏紙使用、ミスマットの防止の徹底についての啓発文を盛り込む。また各グループ等からPPC用紙を大量に使用しているところについてはその理由の聴取、使用経費の方策がないかを追求し、全庁的に環境負担軽減の意識啓発を行っていく。	R5年度のPPC用紙発注量を3,382,000枚にする。 R5年度のトナー発注量を152個にする。	活動計画	紙の使用量の削減に努める	紙の使用量の削減に努める	紙の使用量の削減に努める	R5年度のPPC用紙発注量を4,350,000枚。 R5年度のトナー発注量を108個。
							実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成	
							実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成	
	法務・契約グループ		文書管理事業	文書管理用消耗品の再利用	文書廃棄の際に不要となった白表紙、背表紙、黒ひも及び文書保管箱を回収し、各グループに分配することで、文書管理用消耗品の再利用を促す。	文書管理備品を95%以上再利用する。	活動計画	文書管理用消耗品の再利用	文書管理用消耗品の再利用	文書管理備品を95%以上再利用した。	
議会事務局	議会運営事業	庁内事務における電子化の推進（紙の使用量削減）	職員は、庁内LANの活用をより一層推進させるため電子データと共有化させ、必要最小限の印刷に留めるなど、紙の使用量と廃棄物の削減を行う。また、議員においても電子化は共通の課題であり、紙の使用量の削減に取り組むため、議会運営にかかる提出書類（質問通告・議案など）については、電子媒体での提出を常態とするよう推進していく。その他、議員への各種案内文はグループウェアを活用し、紙の使用量と廃棄物の削減を行う。	電子媒体での質問通告等提出書類件数の割合94%を下回らない状態にする。	活動計画	電子媒体での提出により、紙の使用量の削減を図る	電子媒体での提出により、紙の使用量の削減を図る	100%			
					実施状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成			
秘書グループ	(1)秘書管理事業 市長及び副市長の秘書に関すること（随行等）、渉外及び交際に関すること、市長会その他関係諸団体にに関する業務を行う。 (2)功労者等表彰事業 11月3日（文化の日）に、市政又は公益に顕い功労のあった人及び団体に功労者表彰、善行のあった人及び団体に善行者表彰を行う。	(1)秘書管理事業 市長及び副市長の秘書に関すること（随行等）、渉外及び交際に関すること、市長会その他関係諸団体にに関する業務を行う。 (2)功労者等表彰事業 11月3日（文化の日）に、市政又は公益に顕い功労のあった人及び団体に功労者表彰、善行のあった人及び団体に善行者表彰を行う。	●毎週水曜日のノー残業デーに残業をしないよう努め、光熱費等の節約に努める。 ●内部資料を印刷する際は裏紙の使用を徹底し、資源リサイクルに努める。 ●印刷前に必ずプレビュー画面で確認し、無駄な印刷をしないよう努める。	①水曜日の残業は0。（随行日を除く） ②グループ内で裏紙の使用動向を把握し、必要に応じて削減を行う。コピー用紙使用量を年間14,000枚以内に抑える。	活動計画	ノー残業デーに残業をしない。裏紙の使用を徹底する。印刷前に必ず確認し、無駄な印刷をしない。	ノー残業デーに残業をしない。裏紙の使用を徹底する。印刷前に必ず確認し、無駄な印刷をしない。	①水曜日の残業は0。（随行日を除く） ②コピー用紙使用量12,335枚ノ14,000枚			
実施状況			達成	達成	達成						

大阪狭山市地球温暖化対策実行計画

事務事業編

環境活動レポート

発行日 令和 7 年 3 月 3 1 日

大阪狭山市市民生活部生活環境グループ
〒589-8501

大阪狭山市狭山一丁目 2384 番地の 1

電話 072-366-0011

FAX072-367-7953

E-Mail eco@city.osakasayama.osaka.jp